



よりよく生きる

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

発行 2026年(令和8年)1月
第13号
発行責任者 駅家中学校長

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願ひいたします。



清々しい朝の空気の中、生徒たちの元気な挨拶とともに、令和8年の教育活動がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えたこととお慶び申し上げます。

3学期のテーマは「総仕上げ」と「準備」

3学期は登校日数が1年で最も短いですが、それぞれの学年にとって極めて重要な時期です。

1年生：先輩になるための心の準備

中堅学年としての自覚を持ち、新入生を温かく迎え入れられる準備を始めましょう。そのためにも、自分達がしっかり中学生になることができているか、より成長できるために必要なものは何かを考え生活していきましょう。



2年生：学校のリーダーとしてのバトンタッチ

生徒会や部活動の主役として、最高学年への助走を始める時期です。新しい生徒会も発足しました。一人一人が最高学年になり、駅家中学校をひっぱっていく立場となることを意識してほしいです。そして、憧れられる先輩となりましょう。



3年生：進路実現と義務教育の集大成

「卒業」というゴール、そしてその先の新しい扉を開くため、一日一日を大切に過ごしてください。さっそく私学の入試がスタートしています。人生の勝負時です。いろいろな不安やスマホを一度脇に置いて全員で勉強しましょう。それぞれに進む道は違いますが、それぞれが努力をする日々になることは同じです。思いやりを持ち、支え合って日々を過ごしましょう。



特別なこと・当たり前のこと

☆ 「特別なこと」をするために、「当たり前」を積み重ねる

プロ野球のイチロー選手は、かつてこのように語りました。

「特別なことをするために、特別なことをするのではない。特別なことをするために、普段通りの当たり前のことをする」

この言葉を、私たちの学校生活に当てはめてみてください。「特別なこと（目標達成や成功）」の土台にあるのは、常に「当たり前のこと」の積み重ねです。

☆ 箱根駅伝・青山学院大学に学ぶ「自律」

始業式の校長先生の話は箱根駅伝の原監督の言葉でした。

今年の箱根駅伝で優勝した青山学院大学の原晋監督は、選手に「指示待ち人間になる」と伝えています。選手は「寮生活はとても厳しかった」とインタビューで答えています。寮生活では「起床時間を守る」「整理整頓・掃除の徹底」「全員で朝食をとる」「規則を守る」といった当たり前のことを行っているそうです。一見、競技とは無関係に思えるこれらのルールが、土壇場での強さ（自律心）を生むのではないでしょうか。

生徒のみなさん、駅家中学校でも、以下のような「当たり前」の精度を高めていきましょう。

- 時を守り：授業遅刻なし。50分間の授業に集中する「どういう時か」
- 場を清め：整理整頓、学習環境を整える。掃除を頑張る「どういう場なのか」
- 礼を尽くす：相手を思いやり、挨拶を交わす。

※これらは一例です。みなさんが「時を守り・場を清め、礼を尽くす」場面はどんな時か考えてもらえたたら嬉しいです。

ついついスマホやゲームに手が伸びる夜もあるかもしれません。しかし、それを律して提出物を丁寧に仕上げ、体調を管理して登校する。その一歩一歩が、皆さんの中に「確かな力」を蓄えています。

一年の計は元旦にあり



「一年の計は元旦にあり」と言います。この冬休みに立てた「今年の目標」を、ぜひ言葉に出したり、紙に書いたりしてみてください。言葉にすることで、それは「夢」から、具体的な「現実の目標」へと変わります。3学期、皆さんのが自分の言葉で夢を語り、力強く歩み出すことを期待しています。

～保護者の皆様へ～

旧年中は、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も「よりよく生きる生徒の育成～自律と尊重～」を目指し、生徒一人一人の力を伸ばし、夢に向かって頑張ることができるように教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。

